



2024年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2024年1月31日

上場会社名 セブン工業株式会社
コード番号 7896 URL <https://www.seven-gr.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 木下 浩一
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 管理本部長 (氏名) 田口 浩司 TEL 0574-28-7800
四半期報告書提出予定日 2024年2月9日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無：無
四半期決算説明会開催の有無：無

上場取引所 東 名

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第3四半期の業績（2023年4月1日～2023年12月31日）

(1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	11,782	△13.0	59	△81.4	64	△80.0	△714	—
2023年3月期第3四半期	13,545	17.2	320	△15.5	322	△18.5	218	△29.1

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	△159.95	—
2023年3月期第3四半期	48.87	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第3四半期	10,772	6,288	58.4
2023年3月期	11,825	7,090	60.0

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 6,288百万円 2023年3月期 7,090百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	10.00	—	10.00	20.00
2024年3月期	—	10.00	—		
2024年3月期（予想）				10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2024年3月期の業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	15,520	△12.1	△23	—	△20	—	△795	—	△178.08

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期3Q	4,673,250株	2023年3月期	4,673,250株
② 期末自己株式数	2024年3月期3Q	209,162株	2023年3月期	208,754株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期3Q	4,464,277株	2023年3月期3Q	4,464,621株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	4
第3四半期累計期間	4
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	5
(継続企業の前提に関する注記)	5
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	5

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間における我が国経済は、混沌とした国際情勢の不安感を背景とした資源高騰や円安進行等により、不透明な経済環境下で推移いたしました。

当社が属する住宅業界におきましても、資材価格の値上がり等に起因する住宅価格の高騰や物価上昇及び長期金利引き上げへの警戒感から、新設住宅着工戸数は低水準で推移しており、特に持家は前年比10%以上、分譲住宅は前年比5%以上の落ち込みとなり、また比較的好調であった貸家も減少に転じつつあります。

このような状況下、当社が主たるターゲットとする持家や分譲住宅の減少が続いていることを背景に従前から成長分野として取り組んでいる、非住宅分野への領域拡大を更に高め、生産面においてはロボット加工機の導入等設備増強を進め、また営業面においても需要開拓にかかる営業強化に努めてまいりました。また、もう一つの成長戦略である、省施工商品の拡充においては、完全プレカット階段（エコプレ）のバージョンアップ等システム面の充実化と生産体制の拡張や新商品であるサッシ付パネル（NEO SMART PANEL）の営業強化を図り、市場に対するアピールと販路開拓に努めてまいりました。

第2四半期において、多額の減損処理を行ったことも踏まえ、大局的には製品群の練り直し及び事業ポートフォリオの再構築を含め、成長分野に対する経営資源のシフトを検討していくと同時に、足元における収益体制の改善を急務とし、生産体制におけるムリ・ムダの排除、徹底した合理化と効率化を図り、また販売面においても引き続き販売価格の適正化に努めるとともに製品基材の見直し等コスト競争力の向上に努めてまいりました。

こうした施策が奏功し徐々に収益体制の改善に繋がってきておりますが、内装建材事業の再構築に資する取り組みは道半ばの状況であり、今後課題を残す結果となりました。

これらの結果、当第3四半期累計期間の売上高は、117億82百万円と前年同四半期と比較し17億63百万円（△13.0%）の減収となりました。利益面では先に述べたとおり市況の低迷による減収及び為替の影響などによる資材価格の高騰が進行するなか、コスト吸収にかかる十分な改善には至っておらず、営業利益は59百万円と前年同四半期と比較し2億61百万円（△81.4%）の減益、経常利益は64百万円と前年同四半期と比較し2億58百万円（△80.0%）の減益、四半期純損失は第2四半期において、特別損失に内装建材事業部にて、減損損失7億13百万円を計上したことにより、7億14百万円（前年同四半期は四半期純利益2億18百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期会計期間末における総資産は107億72百万円、純資産は62億88百万円、自己資本比率は58.4%となりました。

資産につきましては、107億72百万円となり、前事業年度末と比べ10億52百万円（△8.9%）の減少となりました。これは主に売上債権及び棚卸資産等の減少、第2四半期に計上した固定資産の減損損失によるものであります。

負債につきましては、44億84百万円となり、前事業年度末と比べ2億50百万円（△5.3%）の減少となりました。これは主に短期借入金等の増加があったものの、仕入債務及び長期借入金等の減少によるものであります。

純資産につきましては、62億88百万円となり、前事業年度末と比べ8億2百万円（△11.3%）の減少となりました。これは主に第2四半期に計上した、固定資産の減損損失による四半期純損失、期末配当及び中間配当の実施によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期通期の業績予想につきましては、収益体制の改善を進めている一方、市況の低迷等予断を許さない経営環境下が続くと予測されることから、2023年10月31日に公表しました予想からは変更ありません。

なお、今後業績予想に修正の必要が生じた場合には、速やかに開示いたします。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (2023年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2023年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	775	828
受取手形、売掛金及び契約資産	3,948	3,562
電子記録債権	914	1,040
商品及び製品	286	284
仕掛品	542	415
原材料及び貯蔵品	924	842
その他	155	153
貸倒引当金	△6	△6
流動資産合計	7,541	7,120
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	679	491
土地	2,880	2,667
その他（純額）	442	269
有形固定資産合計	4,002	3,428
無形固定資産	63	54
投資その他の資産		
前払年金費用	98	97
その他	119	70
投資その他の資産合計	218	168
固定資産合計	4,284	3,651
資産合計	11,825	10,772
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,420	1,238
電子記録債務	998	976
短期借入金	250	375
1年内返済予定の長期借入金	328	281
未払法人税等	31	14
賞与引当金	130	75
その他	528	601
流動負債合計	3,687	3,562
固定負債		
長期借入金	960	753
役員退職慰労引当金	50	57
資産除去債務	3	3
その他	33	107
固定負債合計	1,047	922
負債合計	4,734	4,484
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,473	2,473
資本剰余金	2,675	2,675
利益剰余金	2,185	1,382
自己株式	△244	△244
株主資本合計	7,090	6,286
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	0	1
評価・換算差額等合計	0	1
純資産合計	7,090	6,288
負債純資産合計	11,825	10,772

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
売上高	13,545	11,782
売上原価	11,620	10,133
売上総利益	1,924	1,649
販売費及び一般管理費	1,603	1,589
営業利益	320	59
営業外収益		
受取配当金	3	6
受取手数料	1	1
スクラップ売却益	0	0
資材売却益	1	1
その他	2	2
営業外収益合計	9	12
営業外費用		
支払利息	5	5
その他	2	2
営業外費用合計	7	7
経常利益	322	64
特別利益		
固定資産売却益	0	0
補助金収入	—	1
特別利益合計	0	1
特別損失		
固定資産廃棄売却損	0	0
減損損失	—	713
その他	—	11
特別損失合計	0	725
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	322	△659
法人税、住民税及び事業税	45	11
法人税等調整額	58	43
法人税等合計	103	54
四半期純利益又は四半期純損失(△)	218	△714

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。